



化学と共に明日を見つめる

**川口薬品株式会社**

KAWAGUCHI CHEMICAL CO., LTD.





## ご挨拶

川口薬品株式会社  
代表取締役社長

小木曾 章

*Akira Ogiso*

近年、人類社会はデジタル技術や情報通信分野の革新的な進化を伴って急速な経済成長を遂げ、豊かさを享受できる環境が拡大の途上にある一方で、地球温暖化による気候変動がもたらす自然災害やマイクロプラスチックによる海洋汚染など、新たなる環境問題に直面しています。脱炭素化や再資源化、無害化など、人類の持続的発展を実現するためにはこうした化学技術の進化が不可欠であり、その実現に向けた様々な提案や取り組みが世界的に進められています。

川口薬品グループは、長年培ってきた流通部門の販売力と情報収集能力、更には有機過酸化物など多様な製品の生産技術に関する専門知識を生かし、これからも「化学」を通じて様々な課題に取り組み、ご要望にお応えしてまいります。

流通部門では日本国内は元より近年伸長の著しい中国との交易拡大への取り組み、また、製造部門では国内5拠点およびインドネシア2拠点での安全及び環境保全に配慮した生産活動を展開しており、将来にわたり広く社会に貢献できる企業を目指しております。

これからも皆様に寄り添いながら、全力を挙げて責務を果たしてまいります。今後とも倍旧のご支援ご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



化学と共に明日を見つめる  
川口薬品株式会社

# 製造と流通のベストコンビネーション



## 沿革

1939(昭和14)年	■北村化学薬品店創立	東京市神田区東福田町1番地で営業開始 (現在 東京都千代田区岩本町)
1941(昭和16)年	■川口薬品製造所設立	本社を日本橋本町とし埼玉県川口市で試薬を生産開始
1947(昭和22)年	■川口薬品株式会社設立	川口薬品製造所から川口薬品株式会社として新発足 有機塩化物を生産開始
1956(昭和31)年	■舟渡工場操業開始	東京都板橋区で有機過酸化物を生産開始
1959(昭和34)年	■産宏塗料株式会社設立	東京都板橋区で塗料を生産開始
1968(昭和43)年	■静岡川口薬品株式会社設立	静岡県掛川市で有機過酸化物、塩化銅(I)を生産開始
1973(昭和48)年	■北陸化学株式会社設立	富山県魚津市で塩化ベンゾイル、塩化物を生産開始
1974(昭和49)年	■茨城川口薬品株式会社設立	茨城県石岡市でFRP成型加工品生産開始
1980(昭和55)年	■川口貿易株式会社設立	製品、原料輸出入開始
1981(昭和56)年	■板橋化学工業株式会社に経営参画	埼玉県浦和市(現 さいたま市)にて株式取得
1989(平成元年)	■川口薬品研究センター開設	静岡川口薬品(株)内に設置
1991(平成3)年	■P.T. 川口キミアインドネシア設立	タンゲラン地区で有機過酸化物を製造開始
1992(平成4)年	■オーガニック川口株式会社設立	精密化学品を製造開始
2002(平成14)年	■オーガニック川口株式会社増設 ■川口薬品茨城工場設立	医薬中間体設備新設 茨城川口薬品(株)を統合、連続充填設備新設
2006(平成18)年	■川口薬品浦和工場設立	板橋化学工業株式会社より株式全取得
2010(平成22)年	■茨城川口薬品株式会社設立	茨城工場を分社化、農薬充填事業に転換
2011(平成23)年	■板橋化学株式会社設立	浦和工場を分社化
2013(平成25)年	■北陸化学株式会社閉鎖	魚津工場を閉鎖、製造品目をオーガニック川口に移転
2019(令和元年)	■川口薬品本社事務所移転	中央区日本橋小網町に移転
2020(令和元年)	■P.T. 川口キミアインドネシア拠点拡大	インDRAMユ地区で有機過酸化物を製造開始
2023(令和5)年	■川口薬品浦和事業所設立	板橋化学株式会社および研究開発センターを再編

# 流通セクション

## 時流を敏感に捉える 商品と情報の中継拠点

スピーディーな情報収集、情報提供こそが川口薬品の伝統であり、原点であります。製造部門のバックアップを受けて着実に実力をつけ、現在では国内外の有力メーカーの製品を数多く取り扱っております。

対象品目は各種有機・無機薬品、合成樹脂および加工製品、医・農薬中間体、動物薬、染・顔料、エレクトロニクス関連製品など多種多様。技術、ニーズの変化を敏感に捉え会社の業績を着々と拡大してきました。

製造部門からフィードバックされる確かな技術情報、川口薬品貿易グループからの海外最新情報はとりわけリアルタイムで伝えられ、各産業の動向や社会全体の変化がすばやくキャッチできる体制が確立しているのも大きな強みです。このように現在から未来までを見据える的確でホットな情報提供を常に心がけてきたことが、メーカーからもユーザーからも多大な信用をいただいております。

川口薬品では、スピーディーな情報収集、情報提供こそが流通の使命であるとの見地に立ち、ビビッドなアンテナをはりめぐらせています。



本社エントランス

# 製造セクション

## 徹底した合理化と最新の技術が 生み出した効率的な製造体制

製造部門は、有機過酸化化物等の自社製品に併せ、精密化学品・機能化学品の受託製造を永年に亘り積極的に展開し、技術の蓄積に努めて参りました。

国内では静岡・山形・茨城・東京・埼玉の各工場の他、インドネシアに関連2工場を有し、主力である有機過酸化化物の他、半導体関連材料・医農薬中間体等の精密化学品、機能性樹脂、基礎化学品、分散剤、OEM品等、多種多様の製品を生産しています。



制御室 分散制御システム (Distributed Control System ; DCS)

# 研究開発セクション

## 川口薬品グループは お客様のNEEDSに 迅速に、創造的に応えます。

川口薬品グループは国内5工場、海外2工場の製造拠点と浦和、静岡、山形の研究開発拠点があります。

これまで長年蓄積した有機合成の技術を利用して、半導体封止材用樹脂、電子材料洗浄剤、農薬中間体、原体、医薬中間体、記録紙材料、紫外線硬化材、有機過酸化物、塗料製造技術から発展したサブミクロンの分散技術、大学の新技术を利用した光学分割の応用など、多岐にわたる製品をお客様のニーズにお応えして、安定的に提供しております。



試験室 ガスクロマトグラフィー (GC)

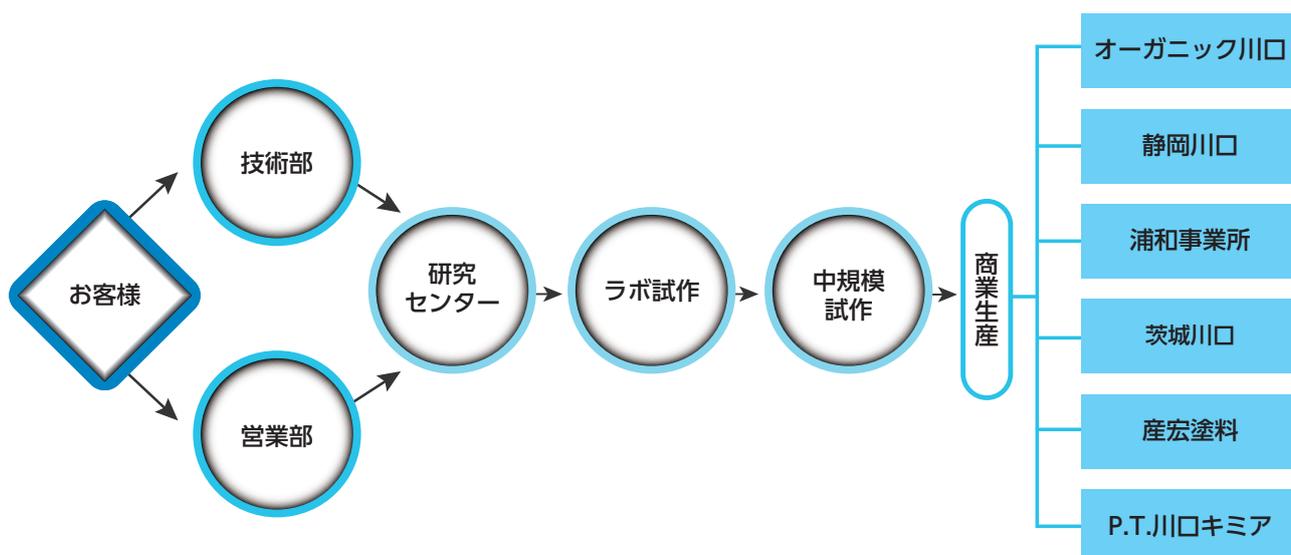
研究所名：川口薬品株式会社 研究センター

業務内容：各種受託内容のトレースとスケールアップ検討  
サンプルの試作 数百gから1,000kgの範囲

特 色：各種有機合成(グリニャール反応、ディールスアルダー反応、フリーデルクラフト反応、サンドマイヤー反応、ライサート反応、過水酸化、各種エステル化)、乳化重合、懸濁重合、塩素化、還元反応、サブミクロン分散

## ■ 川口薬品の開発のHOW TO

それぞれの工場毎に特徴のある技術と設備、およびラボベースから小試、コマーシャルとバラエティに富んだ設備を利用して迅速な製品化が可能です。



# 主なグループ関連会社

## 当社製造体制を支える高等な生産技術と万全な品質管理



### ■ オーガニック川口株式会社(山形県米沢市)

八幡原中核工業団地に所在し、シクロペンタノン等の機能化学品の生産や、電子情報材料、農薬中間体などの受託生産を行っています。

業務内容：各種樹脂製造、精密化学品製造  
生産品目：半導体封止材用樹脂、農薬原体、基礎化学品、医薬中間体  
特 色：各種縮合反応、高温反応、耐酸蒸留、DRY塩酸付加反応  
塩化チオニルによる塩素化反応  
ISO9001 2006.12.11登録



### ■ 静岡川口薬品株式会社(静岡県掛川市)

東海道新幹線掛川駅より車で30分の位置にあり、独自製造技術により生産される有機過酸化物を代表とした自社製品の他、多様な受託生産品の製造を行っています。

業務内容：過酸化物の製造、加工、各種受委託  
生産品目：有機過酸化物、有機合成品一般(医農薬中間体、化粧品原料)  
キシレンスルホン酸、BPO、BPO-SP、MEK-PO、  
CHP(シクロヘキサノンパーオキシド)、MCPBA  
特 色：H<sub>2</sub>O<sub>2</sub>酸化、有機合成反応  
ISO9001 1999.7.1登録、ISO14001 2006.8.11登録



### ■ 川口薬品株式会社 浦和事業所(埼玉県さいたま市)

農薬の受託生産を主体に製造しております。また、事業所内に川口薬品グループの研究開発機能を備えた研究センターがあります。

業務内容：農薬、硬化剤の受託生産  
生産品目：化学薬品及び工業薬品、医薬品、医薬部外品  
特 色：各種有機合成、乳化重合、懸濁重合  
ISO9001 2007.1.29登録



### ■ 茨城川口薬品株式会社(茨城県石岡市)

柏原工業団地に所在し、主に農薬の配合及びパッケージの、システム導入による生産体制を確立しています。

業務内容：粉粒体・液体の含浸、小分け充填・包装  
生産品目：製造農薬(殺虫剤・殺菌剤・除草剤等)・建設用グラウト材  
特 色 粒体・液体の充填およびパッケージのシステム導入による品証体制の確立  
ISO9001 2006.12.25登録



産宏塗料株式会社(東京都板橋区)



川口薬品株式会社 舟渡工場(板橋区)

■ 産宏塗料株式会社(東京都板橋区)

■ 川口薬品株式会社 舟渡工場(板橋区)

塗料の受託製造を手掛ける他、分散技術を生かして農薬などの受託生産を実施しています。

なお、産宏塗料株式会社の物流拠点として、川口薬品株式会社 舟渡工場があります。塗料原料および製品のデリバリーを担う他、農薬の製造拠点としても活用されています。

業 務 内 容：塗料受託製造、農薬のフロアブル、各種湿式粉碎

生 産 品 目：塗料、農薬

特 色：湿式粉碎(サブミクロン)、分散、乳化

ISO9001 2005.12.19 登録

K5551 構造物用錆止めペイント

K5552 ジンクリッチプライマー

K5553 厚膜型ジンクリッチペイント

K5658 建築用耐光性上塗り塗料

K5659 銅構造物用耐候性塗料

K5675 屋根用高日射反射率塗料

## 海外拠点



■ P.T.川口キミア インドネシア  
(ジャカルタ・タンゲラン地区)

1991年に合弁会社として設立、首都ジャカルタ郊外の西方にあるタンゲラン地区に最初の工場を建設しました。有機過酸化物製造の海外拠点として、主力製品(メボックス、サイボックス、ベンボックス)の製造を行う他、塩化銅(Ⅰ)の製造も行っております。



■ P.T.川口キミア インドネシア  
(西ジャワ州・インドラマユ地区)

2020年に、更なる増産対応のため、首都ジャカルタの東方にあるインドラマユ地区に設立し、主力製品ベンボックスの生産を開始しました。他の主力製品についても順次稼働して参ります。

## ■ 企業概要

社名	川口薬品株式会社	役員	代表取締役社長 小木 善章 取締役 菅原 昭二 取締役 岩崎 邦雄 監査役 徳永 信
TEL	03-3662-7171 (代表)		
FAX	03-3639-9100		
営業拠点	東京・大阪・福岡	取引銀行	みずほ銀行 兜町支店 三井住友銀行 日本橋支店 静岡銀行 東京営業部 日本政策金融公庫 東京支店 商工中金 本店
工場	国内5拠点、海外2拠点		
設立年月日	1947(昭和22)年4月		
資本金	36,000,000円 (グループ合計243,000,000円)	従業員数	66名(グループ国内合計218名)
		決算期	3月

## ■ 拠点・関連会社

### 営業部門

#### 〈本社〉

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町6-7 第2山万ビル6F

#### 〈大阪事務所〉

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島5-13-12 谷ビル2F TEL 06-6732-9101 FAX 06-6304-6224

#### 〈福岡事務所〉

〒812-0044 福岡市博多区千代4-29-46 アストール博多ビル402 TEL 092-409-2305 FAX 092-402-7753

### 製造部門・研究開発部門

#### 〈オーガニック川口株式会社〉

〒992-1128 山形県米沢市八幡原1-1-1 TEL 0238-28-0029 FAX 0238-28-0033

#### 〈静岡川口薬品株式会社〉

〒437-1302 静岡県掛川市大淵字前浜1456 TEL 0537-48-2492 FAX 0537-48-5394

#### 〈川口薬品株式会社 浦和事業所〉

〒338-0834 埼玉県さいたま市桜区新開1-25-8 TEL 048-862-5711 FAX 048-862-5714

#### 〈川口薬品株式会社研究センター(浦和事業所内)〉

〒338-0834 埼玉県さいたま市桜区新開1-25-8 TEL 048-862-5712 FAX 048-862-5751

#### 〈茨城川口薬品株式会社〉

〒315-0002 茨城県石岡市柏原16 TEL 0299-23-6181 FAX 0299-24-1401

#### 〈産宏塗料株式会社〉

〒174-0042 東京都板橋区東坂下2-6-18 TEL 03-3966-2761 FAX 03-3965-6217

#### 〈川口薬品株式会社 舟渡工場〉

〒174-0041 東京都板橋区舟渡3-20-29 TEL 03-3966-7391 FAX 03-3965-0754

### 海外関連会社

#### 〈PT. KAWAGUCHI KIMIA INDONESIA〉

本社所在地 SOHO CAPITAL JL Let Jend S. Parman Kav. 28 Lt. 23 No.07 Jakarta Barat 11470. Indonesia  
TEL +62 21 3005 0230 FAX +62 21 3005 0231

工場所在地 タンゲラン JL Raya Serang Km. 12.5, Bitung Jaya Cikupa, Tangerang - Banten 15710  
TEL +62 21 5940 2708 FAX +62 21 5940 3249

インドラマユ JL Raya Losarang, Desa Jumbleng Losarang, Indramayu 45253  
TEL +62 234 7146 926 FAX +62 234 7145 429

川口薬品株式会社ホームページ  
<https://kawaguchichemical.co.jp>



業種	繊維・化学									
カワグチヤクヒン										
<b>川口薬品株式会社</b>										
<a href="https://kawaguchichemical.co.jp/">https://kawaguchichemical.co.jp/</a>										
<b>採用情報</b>										
募集予定専攻 ※◎は積極採用										
	応用化学	食品工学(学部) 食健康科学 研究科(修士)	材料科学	化学システム工学	土木環境	機械	知能制御	電子情報 通信	博士	留学生
学部	◎	○	◎	◎	○	◎	○	○	○	
修士	◎	○	◎	◎	○	◎	○	○		
企業 PR	<p>1947年設立以来、常に製造と流通の一本化を心掛け、製造部門の技術開発力、流通部門の販売力と情報収集能力が相乗効果を発揮し、高い評価を得る総合化学品会社となっております。</p> <p>勤務先のオーガニック川口(株)は、川口薬品(株)の中核を担う製造拠点として1993年に操業を開始しました。</p> <p>山形県米沢市の八幡原中核工業団地に所在し、シクロペンタノン・塩化ベンゾイル等の基礎化学品の生産や、フェノール系樹脂・農薬/先端機能材料中間体などの受託生産を行っています。</p>									
インターンシップ情報	<p>有(1日~5日間)</p> <p>電話にて申込 (03-3662-7182 総務課)</p>									
群大生へのメッセージ	<p>当社は、コンパクトな組織で、社内の連携がスムーズです。</p> <p>みんなで知恵を出し合い、チームで協力しながら支え合う環境があります。</p> <p>何事においても探求心があり、学ぶことで成長していくことへの意欲がある方、また、チームワークを大切に元気がある方を求めています。</p> <p>一人ひとりの方とじっくりお話をし、人物重視の採用活動を行っています。</p> <p>是非、当社に興味を持っていただければ幸いです。</p>									
募集職種	<p>製造技術職 生産技術職</p>									
勤務地	山形県米沢市									
採用人数	5名									
初任給	(大卒)217,700円 (院卒)228,020円									
OB・OG 在籍数	2名									
OB・OG 紹介	可									
学校推薦枠 /人数	無									
<b>会社データ</b>										
事業概要	化学工業薬品の製造、販売、受託生産									
設立	1947/04/01									
資本金	3,600万円									
売上高	157億円(令和5年度)									
株式市場										
従業員数 (連結/単独)	川口薬品グループ 220名(令和6年3月現在)									
群馬県内 事業所	無									
主な 海外拠点	インドネシア									
福利厚生等	資格取得支援制度・退職金制度・借上社宅家賃補助・熱海保養所・慶弔金制度・財形制度・夏季・年末年始休暇有 など									
本社所在地										
連絡先	〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町6-7 第2山万ビル6階 総務部総務課 (TEL)03-3662-7182 (Email)n.takahashi@kawaguchichemical.co.jp									